

様式第1号（第5条関係）

会議概要

会議の名称	平成27年度第2回久喜市生涯学習推進会議
開催年月日	平成28年3月25日（金）
開始・終了時刻	午前10時から 午前11時58分まで
開催場所	菖蒲コミュニティセンター4階ボランティアビューロー
議長氏名	平 忠昭
出席委員（者）氏名	明石實正、飯島栄治、梅原克彦、金子雄司、倉持良幸、 原嶋憲二、鈴木多美子、平 忠昭、田沼勝子、中里厚子、 野口和子
欠席委員（者）氏名	榎本英明、木村善二、白石安男、帯津嘉二、富澤博子、 河原塚努、松永康、斉藤駿、田邊喜代子、
事務局職員職氏名	宮内参事兼生涯学習課長、布施生涯学習課長補佐、堤生涯学 習係長、岩井生涯学習係主査
会議次第	(1) 生涯学習推進計画まなびすとプラン進捗状況について (2) グループディスカッション
配布資料	・久喜市生涯学習推進計画進捗状況
会議の公開又は非公開	公 開
傍聴人数	2 人

様式第2号（第5条関係）

審議会等会議録

発 言 者	会 議 の て ん 末 概 要
<p>司会 布施生涯学習課長補佐</p>	<p>< 開 会 > 皆さん、おはようございます。定刻少し前ですが皆さんお集まりでございますので、ただいまより平成27年度第2回久喜市生涯学習推進会議を開催させていただきます。本日はご多用の中ご出席をいただきましてありがとうございます。本日の司会進行を努めさせていただきます、生涯学習課の布施と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の欠席者でございますが、木村委員、斉藤委員、白石委員、帯津委員、河原塚委員、松永委員、田邊委員、富澤委員、榎本委員につきましては、所要のため、欠席する旨の連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。久喜市生涯学習推進会議条例第5条第2項の規定に基づき、委員の過半数を超えました。会議が成立いたしましたので、進めさせていただきます。本日の資料の確認ですが、次第と久喜市生涯学習推進計画進捗状況「4ささえあう」でございます。それと、まなびすと久喜の報告、強化月間についてということで、広報くきの1枚の資料、平成28年度生涯学習推進会議委員年間計画案、先ほどお配りさせていただきました平成28年度第7回久喜市生涯学習研修大会まなびすとフォーラムの案内通知を配布させていただきました。ご確認をお願いいたします。それでは最初に、平議長からご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>平議長</p>	<p>< あいさつ ></p>
<p>司会 布施生涯学習課長補佐</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、教育部参事宮内生涯学習課長より挨拶を申し上げます。</p>
<p>宮内生涯学習課長</p>	<p>< あいさつ ></p>
<p>司会 布施生涯学習課長補佐</p>	<p>本日の会議は、久喜市審議会等の会議の公開に関する条例により、原則公開とさせていただきます。また、会議録を作成し、市のホームページで公開となりますので、よろしくお願いいたします。それでは、式次第に従いまして進めさせていただきます。さっそく、議題にはいっていきたいと思います。それでは、議事の進行につきましては、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第1項の規定により平議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
<p>平議長</p>	<p>それでは、座らせていただきます。この生涯学習推進計画進捗状況の資料に基づきまして、進めさせていただきます。その前に生涯学習推進部と我々の生涯学習推進会議主催のまなびすと久喜について、簡単にその成果をご報告させていただきたいと思います。当日は菖蒲のアーミーゴで行なわれたんですが、交通の便が大変心配されてまして、人が集まってくれるかなと思っていたんですが、大変多くの方に来ていただきました。2日間で4000名位だったでしょうか、本当に盛況のうちに終わりました。配布されております、まなびすと久喜を見ていただきたいんですが、簡単に報告させていただきます。まず、初日のフォーラム、まちづくりなんですが、ここの出身である本多静六先生の業績を偲びながら、それを教訓にどのような新しい久喜市のまちづくりができるんだろうかということについて、4人の方々のパネラー、その前に菖蒲総合支所副支所長の渋谷さんの講演をいただいて、そこに書いてあるのを見て</p>

	<p>いただきたいのですが、結論というのは無いのですが、豊かなまちづくりのためには、我々市民があまり自分たちのことを知らなさすぎるんじゃないかと思います。まず、合併前の自分たちのまち、そして合併後の自分たちのまちについて知っているんでしょうか。そういう疑問が出されました。そういうことを知らないでにおいて、久喜はいいまちですよ、ぜひ遊びに来てくださいということが発信できないでしょう、ということがまとめということになったのかと思います。したがってこの豊かな久喜市をつくるためには、まず、合併した相手のことを良く知る、そのためには、行動しなければならないんですけれども、まず、自分の足元から良く見て発信していこうじゃないかということがひとつの成果として取り上げられたと思うんです。以前は、まちづくりはこういうことがいいんじゃないかとかあったんですが、まず、自分たちのことを知ってそれを基に情報を発信して行って、新しいかたちの久喜市を皆さんに知っていただいて、来ていただくということが大事なんだなという感じがいたしました。それが、成果報告ということで2ページに渡って書いてございますので、ご覧いただけたらと思います。それから、翌日も含めてですが、いろんなイベントの関係は1ページから10ページまで書いてございますので、参照していただければと思います。先ほども申しましたが、大勢の方に来ていただいて、駐車場係が大変だったとぼやいておりました。そしてご存知のとおり、この推進会議が主催者でたくさんの方が来ていただき、推進部の方も兼ねている方も、大変ご苦労様でございました。簡単ではありますが、先日行なわれましたまなびすと久喜のご報告をさせていただきます。</p>
平議長	<p>それでは、まなびすと久喜について、ご質問はございますか。</p>
平議長	<p>無いようですので議題にはいります。この生涯学習推進計画進捗状況の資料に基づきまして、進めさせていただきます。今回は「ささえあう」ということでございます。それでは事務局から説明をお願いいたします。</p>
堤生涯学習係長	<p>はい、それでは私のほうからご説明をさせていただきます。今回は生涯学習推進計画の柱であります「まなぶ」「いかす」「つなぐ」「ささえあう」の最後の柱であります「ささえあう」の事業につきまして、話し合ってください。皆さん今お持ちになっているかどうかわかりませんが、この久喜市生涯推進計画のまなびすとプランの56ページからになります。そちらの所管する事業について、今回、照会をかけた上で、27年度現在の時点での実績ということで、回答いただいたのでご報告したいと思います。それではお手元の資料6ページに渡ってさせていただきます。資料をご覧いただきたいと思います。</p> <p><久喜市生涯学習推進計画（久喜市まなびすとプラン）の資料1ページから6ページ（1）推進体制の整備・充実、（2）情報提供・相談活動とそのシステム化、（3）市民団体等の活性化の促進について説明></p>
平議長	<p>はい、ありがとうございました。それでは今のご説明について、委員の皆さんからご質問等ございましたら、お願いいたします。いかがでしょうか、よろしゅうございますか。</p>
金子委員	<p>ひとつ要望があるんですが、1ページ2番の生涯学習推進会議、生涯学習推進部への積極的な支援ですが、市民まつり、コスモスフェスタ、菖蒲産業祭、やさしさときめき祭りと4つあるんですが、参加費を取ら</p>

	れるんですね。市民まつりは実行委員会と相談の上、免除されているんですが、他の3つについては減免にならないものかと、一度確認したところ無理ですということでしたが、再度お願いをしたいと思います。生涯学習の啓発等で4地区の祭り、これはとても大事なことです。要望いたします。
堤生涯学習係長	はい、それぞれの事務局に確認をしたいと思います。
平議長	要望ですけれども、是非実現できればと思います。
平議長	他にございませんか。
原嶋委員	6ページの子ども大学くきについて、別の場所にいつそ切り替えて別の大学でやったほうがいいんじゃないかと思うんですが、平成28年度の計画ではどうなっているのでしょうか。
平議長	28年度は理科大から来てもらってやるんですか、それともどうなっているのでしょうか、お願いします。
堤生涯学習係長	はい、では私の方でお答えいたします。先日事業が終わった後の実行委員会で市の教育委員会、東京理科大、それと協力団体として久喜青年会議所の3者で実行委員会組織をつくっているわけなんです。会計報告も含めまして、来年度どうしようかという話があったわけなんです。会場をどうしようかとか、具体的な話ではなかったんですが、理科大が撤退した後、理科大は、神楽坂、野田、葛飾とかにあるんですが、例えばそこへ子どもたちに来てもらって、活用するというひとつの方法があるのと、理科大の講師にこちらに来ていただいて、講義をしていただくということも可能であるということで、それらをこれから協議していくということでした。そういった関わりができるということでございますので、まったくこれで関係が切れるということではありません。あくまで、久喜市から撤退するということでございます。中身については関わっていきたいという意向でした。今年度までは事業部という窓口だったんですが、今後は広報部に移るということで話し合いをさせていただきました。平成国際大学も基本協定を結ばせていただいたということで、今後は子ども大学だけではなく、平成国際大学でもいろいろな関わりがでてくるんじゃないかと思います。理科大とは当初、なるべく長くやっていくということが残っておりますので、28年度におきましては今年度と同じ体制でやっていくということで、確認してございます。
平議長	よろしいですか。他になにかございますか。理科大が撤退した後の施設の有効活用ということで、条例が改正されたでしょう。広報に載っていましたが、どなたか応募された方いらっしゃいますか。私もいろいろ聞いてみましたが、やはり教育関係の施設、センターが多いようです。そのことは、この後グループ討議で話し合っていたかと思います。それでは、堤さんからのご報告でよろしいでしょうか。
原嶋委員	しずか館は廃止の方向なんですか。
堤生涯学習係長	今、原嶋委員さんからご質問がございましたが、平成23年度の方針の中で、しずか館は耐震性が校舎であるとか体育館については基準にだいぶ数値が満たしてないということで危険性があるということで、しずか館を解体して、機能を栗橋公民館に新設するような形で進めてございます。ただ統廃合ということで方針を出しているんですが、なかなか栗

	<p>橋公民館の具体的計画が進んでない状況がございまして、本来であればしずか館を閉めた後に栗橋公民館がその役割を果たすというキャパを持った施設でスタートできればということですが、なかなかそのところがうまくいっていない状況でございます。しずか館は廃止して、どうしても近隣の施設の方に流れてしまう部分はあるかと思いますが、ご利用団体にご理解をいただいて、栗橋公民館またはその周辺の施設にということで進めてございます。できれば28年度ぐらいを目途に廃止できればと、ただ、今年の夏の参議院選挙の会場となっておりますので、少なくともこの期間は開けていかななくてはならないと思っております。それ以降につきましては、いろいろ中に入っております器具等もありますので、適宜撤退させながら早期のしずか館の廃止ということで進めて、動いております。</p>
平議長	<p>栗橋地区の皆さんのご意見等はあるんでしょうか。</p>
宮内生涯学習課長	<p>直接的には、統廃合で廃止ということは伝わっているとは思いますが。しかし、それは困るというような話は入っておりません。市としても適応指導教室に使ってきておりましたので、廃止の方向性を具体的にいつというお話が決めかねていたんですけども、その辺の整理がやっと今年度利用団体の方々に、こういう危険性の建物でここを閉めていくというお話をさせていただきながら、栗橋公民館も旧の校舎を使っておりますので、あちらもあのままではだめなんですね。結局、公民館機能を残すには新設するしかないということで、本年度基本調査を実施しましたが、それが具体化されれば、積極的に栗橋公民館をご利用くださいといえるんですが、スケジュール的なことは未だ具体化されないんです。結局、我々にもつかみかねている状況にあるということです。利用者には早めに情報提供して、こういう時期がきますということでご理解をいただければと思います。地震がきたらもしかしたら、つぶれますという施設ですので、空があれば別の施設をご利用いただければ、ということのを促していかなければならないということ、28年度やっていかなければならないと思っております。</p>
平議長	<p>栗橋公民館にプラスされるという考え方なんですか。</p>
宮内生涯学習課長	<p>旧校舎を使っているんで、立場的には、栗橋公民館も同じなんですけれども、距離も近いので、市としてどういう方向にしていくかといった時に2館を1つにして、栗橋公民館として残していくと。今の栗橋公民館は100%使われているかというところまでではございませんので、今年度基本調査をやったので、その方向でやっていくということです。</p>
平議長	<p>生涯学習施設が無くなるというのは困ることですので、逆に充実するんであればということでよろしく願いいたします。他にになにかございませんでしょうか。</p>
明石委員	<p>先ほど出前講座が52件実施されたと説明があったんですけども、どのような内容の講座が多かったんでしょうか。</p>
堤生涯学習係長	<p>今、手元に26年度の具体的な資料が無いんですけども、例えば分野でいいますと福祉の分野が多いと、やはり申請される年齢層が高いということで介護保険のしくみとか認知症の講座が他のところよりも2桁いくような数字で、次に防災ですとか、財政ですとか、スポーツです。ニュースポーツはスポーツ推進委員さんに対応をお願いしているものも4、5件ございます。そういった分野もございます。</p>

野口委員	社会教育3団体の中に公民館運営委員さんがありますが、去年は無かったですよね。
堤生涯学習係長	今までは社会教育3団体でしたが、最後に来年度の年間計画の中でまた触れさせていただきますので、よろしく願いいたします。
平議長	特に公民館運営委員さんには、ただ承認するだけではないかという意見も出ましたので、こういう社会教育団体が一緒になって協議していくということが、非常に有意義だったというお声が多かったものですから。他にありませんか。
倉持委員	まなびすと久喜の話が出ましたけれども、この反省会の資料の中で皆さんの意見を見ますと実行委員会の運営を今までやっていた人は理解しているけれど、新しく参加した方はほとんど理解していない。この辺で長年やっていた方と新しく参加した方とのギャップがある。反省点はいろいろ出てくるんですけども、次の年度に生きていかない。推進部の人は理解しているけれども、初めて参加する人はよく理解しないで、ただ言われたとおりにやっているから、次の大会に生きてこない。是非、発表会とか、フォーラムとか組織的な運営の課題について、新しい人たち、若い人たちにせっかく参加してもらったので、理解してもらって、この報告書を見ると書いてありますので、次へのバトンをつなぐ意味でもお願いしたいと思います。
平議長	今、倉持委員さんがいわれたことは充分、我々承知しております。次につなげていきたいと思えます。
倉持委員	つなぐという意味では、もったいないという気がしています。わたしも3回、4回出ていますが、推進部の委員ですが、正直、そのつど理解できないと思っております。
平議長	次の実行委員長にも伝えていきますので。他に何かございませんか。
田沼委員	倉持委員さんからまなびすと発表会のボランティアのお話があったんですけども、私、推進部でやっているんですが、今年度推進部委員も人数が少なく、非常に割り振りするのに、人数が足りない状況であったんです。ボランティアの方も一般公募の方もそんなに多く集まらなかったんです。運営するのはとても大変な状況であったと思えます。ただ、菖蒲で行なわれましたので、菖蒲の中学生がよくがんばってくれたと思えます。高校生も参加して更になんぼってくれたらと思えます。もう1点ですが、大変いいにくいのですが、私たち推進部は、推進会議で決まったことをやる実戦部隊でがんばっているわけですけども、やはり推進会議の委員の方々もやはりどのような状況で動いているのか、理解していただきたいと思えます。ですので、是非当日会場に来ていただいて、様子を見ていただいて、あるいは一緒に活動していただく大変ありがたいと思えます。今回明石委員さんにはまなびすと発表会では大変お世話になったわけで大変助かったわけですけども、そんなふうに私なりに勝手に思っております。
平議長	ありがとうございます。主催はこの推進会議なんですけれども、再三皆さんにお願いしてきたわけですが、推進部兼ねている方は当然出ているわけですが、今後私ども推進会議が主催だと6月11日まなびすとフォーラム、これもそうです。どういったことをやっていただくのか、出ているのを前提で、これからは役割分担もやっていく必要があるん

	<p>じゃないかなという感じがします。決して我々はお客さんじゃありませんので、当事者ですので、よろしくをお願いします。</p>
鈴木委員	<p>私は、日を空けて待っていたんですけども、ぜんぜん呼びかけが無かったものですから、ゆうゆうの方から参加しました。</p>
平議長	<p>出られない時は出られないと自ら発信していくのが我々の一番基本的な行動だと思うんです。事務局の方から文書はいつているわけなんですけれども。</p>
鈴木委員	<p>前は聞かれたので、出られなかったんですが、今年度は割り振りがあると聞いてたんですが、無かったです。</p>
梅原委員	<p>私もまなびすとの具体的な連絡があるかと思っていたんですが、実際には呼びかけのものはあったんでしょうけれども。</p>
平議長	<p>その呼びかけのなものに伝えていただきたいんです。</p>
倉持委員	<p>議長、私は4年ぐらい出ておりますけれども、実行委員にはいませんね。公募委員としての枠で出たんです。</p>
平議長	<p>このあたりが未だ不確定なんで、実行委員の枠にどのように当てはめていいのか、できないんですよ。</p>
金子委員	<p>倉持委員さんから何回も言われてまして推進部と推進会議同じところに入っている役割分担で、だから、委員の皆さんから連絡くるのを待っていると、今回みたいなことが起こるので、もうはじめから推進会議のメンバーは、委員として来年度から入れてしまう。それが了解もらえれば、担当の方でこれでどうですかということで、いかがでしょうか。</p>
倉持委員	<p>もう了解をとる必要もないんですよ。主催者ですから。</p>
金子委員	<p>今言った了解というのは、この時点で皆さんがこの方向に行こうという、そういう了解ですからね。来年度からはメンバーに入れていただくということです。</p>
梅原委員	<p>私は、今聞いていて推進部も推進会議もなんかごちゃごちゃになっているんですが、事務局で推進部と推進会議をつくった大元の考え方がどういうところから出てきたのですか、よろしいですか。</p>
原嶋委員	<p>推進会議は案を作ったり、それを審査し、推進部はそれを実践するということです。推進部は実行部隊ということで立ち上げた気がします。それをいっしょにしてまなびすと久喜をやるということは無理があると思います。それを調整するのは難しい面もあると思います。立場、立場でやっていくしかないと思います。</p>
金子委員	<p>設立した当時はそのような考え方でやっておりましたが、だんだん様子が変わってきて、実際、実行委員のメンバーだけでも推進会議の方々の半分ぐらいしかみえてないということです。今は考えを変えて推進会議のメンバーは率先して実行委員に入っていて、推進部とお互い協力して進めていく、これからはこういうことが必要じゃないかと思えます。</p>

平議長	それを是非お願いしたいと思います。先ほど、原嶋委員さんがお話されたように、ここの推進会議については、推進計画の指針を作る、それに基づいて実行するのが推進部とご理解いただければと思います。ですから大元を皆さんで2年半かかって新しいものを作ったわけです。それに基づいて推進部は実行しているわけです。ですから皆さんは両方知っている方がいいのかなと思うわけです。新年度に入りまして、6月11日のまなびすとフォーラム、これは栗橋の北彩高校で実施されるわけですが、それと2月に行なわれるまなびすと久喜は、はじめから実行委員としてということで、是非ご協力をお願いしたいと思います。
田沼委員	それは人数の穴埋めめに入るという意味ではないですね。
平議長	そうではないです。
田沼委員	基盤を作った、それに基づいた実践をする。実践にしたものが成果はどうなんだろう、課題は何だろう、課題があればそれに修正を加えて指針を見直すという、そういうサイクルが必要になってくると思うんです。そういう見届けを推進会議の委員の方は是非必要だと思います。それをやるには、会場に足を運んで共にやる内容を検討することが必要かなと思います。
平議長	そのとおりですね。
明石委員	実際にやってみて、思ったことは、言われなかったらわからなかった部分がありました。言われたら入りやすいです。入ったら、自分に何ができるのか、どういうものがあるのか関係がわかるんじゃないかなと思いました。私からするとなんで分かれているんだろうと思うんです。都合のつく方は推進部と協同でやるということが必要なんじゃないのかなというのが今回やってみた感想です。
平議長	まなびすとフォーラムの本多静六博士の講演なんですけど、まずやることは、こうやろう、ああやろうでなくて、まず自分たちのまちのことをよく知って、新しいまちのことをお互いに知ってからやるということで、ここで得たことをどのようにまなびすとプランに取り入れてやっていっていかということなんです。この後、理科大の施設について、どのように活用していったらいいのだろうかということについて、お話をさせていただきたいと思います。広報での募集の締め切りはまだですね。
堤生涯学習係長	今、市のホームページの方でも東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用方法についてアイデアを募集します、ということで3月31日が締め切りとなっております。こちらをご覧くださいと思います。
平議長	理科大は市が4割譲ってもらって、後の6割が物流関係の民間会社の方に売却するということは決まっております、それはもう議会の方の承認は得られているということです。
原嶋委員	今回は推進会議としての跡地利用について、提案するということですね。
平議長	そうですね。会議の後、そういうことはできますよね。
堤生涯学習係長	はい、こちらで情報をまとめてまた皆さんに見せるということになります。
堤生涯学習係長	グループ討議の前に、理科大について、市の動向をお知らせいたします。先ほど議長からもお話がございましたが、市の方へ建物を含め無償譲渡で4割ということで決定はしてございます。ホームページでその活用方法のアイデアの募集をかけているところでございます。また、久喜市庁舎等検討会議の組織でも検討を行なっているところでございま

	<p>す。市民の方の募集を3月31日で締め切って、その後、その組織の方でいろいろ話をして本年、28年10月に一気に施設をどうするというのではなく、例えば部分的に実施していくという方向で進んでいくということでございます。本日推進会議からご意見をいただいたことについて反映できる部分もあるかと思っておりますので、短い時間の中でも議論いただいた上で、なんらかの形にしてこちらで吸い上げさせていただいて、担当部署のところに持っていければと思います。</p>
平議長	<p>それではこの後グループに分かれまして、東京理科大学久喜キャンパス跡地利用について、11時40分まで議論していただきたいと思っております。</p>
	<p><Aグループ、Bグループに分かれてグループディスカッション> Aグループ 明石委員、飯島委員、金子委員、鈴木委員、野口委員、平委員 Bグループ 倉持委員、田沼委員、原嶋委員、梅原委員、中里委員</p>
平議長	<p>はい、それでは、短時間ではございましたが、Aグループから発表をお願いします。Aグループは鈴木委員さんですか、発表をお願いします。</p>
鈴木委員	<p>はい、それでは、Aグループですが、生涯学習センターということで、子どもから大人、それから障がい者まで市民のいこいの場、交流の場、学習の場的な感じで、子どもが親と遊べる施設が少なく、総合的な生涯学習センターということで、北本生涯学習センターあたりを参考にしていければいいのかなと思います。NPO法人とコンタクトを取って、NPOというのは事務所が無いというところが多いと聞いております。交通の便ということでは、アリオのバスを続けていただければということ。あとは集客として、作品展示を行ったり、庭があるので日帰りキャンプとか、ボーイスカウトにお願いしたり、また、イベント会場、食堂の開放、それと現在公民館で行なっている、市民大学、高齢者大学の会場を移し、地域に公民館を戻す。それと生涯学習センターの名称もすごく重要だということで、愛称を付けて、総合的な交流の場として活用する。</p>
平議長	<p>はい、ありがとうございました。それでは、Bグループお願いいたします。</p>
原嶋委員	<p>はい、それではBグループの発表をいたします。1つは生涯学習センター的な機能を持つもの、2つ目は子育て支援的なセンター、3つ目は高齢者をサポートするサービス、以上3つ機能を備えた施設で、これから少子化、高齢化が進む中での、交流の場を図るという意味での意見が出ました。生涯学習的な位置付けで、市民大学、高齢者大学を移し、中央公民館は地域公民館に機能を持たす。それから、教育センター、生涯学習センターに絞り込む、あと、科学館、音楽センター、工作センター、青少年の野外施設などは久喜市は弱いんじゃないかということで、そういったものもいいんじゃないかという意見がありました。</p>

平議長	はい、ありがとうございました。まとめさせていただきますと、やっぱり市民の教育の中心的な役割を持つ施設であって欲しいということだと思いますので、それに付随して構内で散歩ができるウォーキングができる場所、それと生涯学習、社会教育、物づくり、実験、音楽そういった今の学校で出来ないことをする、そこに教育委員会が事務局で入ってくる。また、高齢者大学、市民大学は公民館を多く使用をしている。それを移し、公民館を地域に還す、本来の公民館の役割を持たすという意見だと思います。こんなところでよろしいでしょうか。
金子委員	よろしいでしょうか。先ほど、学校教育の話がでておりましたが、学校教育と社会教育の住み分け、お互いの連携がうまくいけば、あの施設が生きていくんじゃないかと思います。
明石委員	Aグループの鈴木委員さんの方で生涯学習のネーミングをという話で、今までの話だと生涯学習は仕事をリタイヤした方が利用する施設だと受け止められ、やっぱり若い人向けの教育も講座も充実していかないといけないんじゃないか、あれは高齢者向け、子ども向けだよと、そういう特別な場所にしてはまずいんじゃないかと思います。親しんでもらえるように若い人も参加できるような場所にしていただきたいと思います。
平議長	学校の教室で出来ないものはそこでできるよ、ということであれば重複して持つ必要がないわけです。そういった連携というのは大事なかなと思うわけです。それと交通の便ですね。子どもたちがいくというと交通の便をどうするか、教育センター用のバス1台を用意していただくとそれを利用できるというのではないかと思います。そんなところでよろしいでしょうか。
明石委員	ここの物流センターになるスポーツゾーンは潰すんでしょうか。非常に興味があるんです。久喜にはこういったきちんとしたトラックが無いので、土ばかりで、わざわざこういうのを潰すんじゃないかと、もらえるといいなと思います。
平議長	ここは物流センターになるわけですから、無理だと思います。
明石委員	そうなんでしょうけれども、そこをなんとかならないものでしょうか。
平議長	ここは物流センターになるわけで、非常に交通安全の面から重要な要素ですので、そこをしっかりとしてもらわないといけないと思います。
平議長	それでは、議題2は終了いたしました。ここでグループディスカッションを閉じたいと思います。
梅原委員	ちょっと気になったんですが、よろしいでしょうか。私たちがこの場で使う生涯学習という言葉は、社会教育、学校教育、家庭教育そういうことをひっくるめた生涯学習でしょうか。それとももっと狭く考えた生涯学習という言葉なんですか。

平議長	それについてはこのまなびすとプランの1ページから4ページが、今、梅原さんがおっしゃったことへの回答になるんじゃないかと思うんですけども。生涯学習は、おおげさにいいますと赤ちゃんから死ぬまで、ということになります。先ほど明石さんがいっていたリタイヤした人が中心にやるということは社会情勢上、仕方のないことだと思います。これは今回時間がありませんので、ここで終了させていただきます。
司会 布施生涯学習課長補佐	はい、活発なご協議ありがとうございました。それではその他でございます。まず1点目強化月間についてです。原嶋委員お願いします。
原嶋委員	前回の会議で強化月間を作ったらどうかということで、生涯学習課堤さんといろいろ資料を集めたんですが、そういう推進月間に該当する事業をやっているところもあるんですが、20年前に行なわれた事業で、その過程といいますか、要綱的な資料を集めることができませんでした。生涯学習課の堤さんにもだいぶお骨折りをいただいたんですけども、必要な資料が無かったということです。そして、広報くき3月号に「自殺対策強化月間」です、というのが掲載されておりました。これを基に、生涯学習強化月間というタイトルに直して、生涯学習の現状や方針、スローガン、例えば2月に行なわれる推進大会とか公民館まつりとかの行事を月間の指定に位置づけて、提案していきたいと考えました。次回までには、骨子を作って皆さんに提案したいと思いますので、よろしく願いいたします。
司会 布施生涯学習課長補佐	はい、よろしいでしょうか。それでは2点目平成28年度生涯学習推進会議委員年間計画案ということで、堤係長ご説明をお願いします。
堤生涯学習係長	それでは平成28年度生涯学習推進会議委員年間計画（案）について、ご説明いたします。 <平成28年度生涯学習推進会議年間計画（案）について、資料に基づき説明、金子委員がまなびすとフォーラムについて補足説明>
司会 布施生涯学習課長補佐	何か全体を通してご質問等ございますでしょうか。無いようですので、閉会の言葉を原嶋副議長お願いいたします。
原嶋副議長	<閉会の言葉>
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためここに署名する。</p> <p>平成28年5月9日</p> <p style="text-align: center;">議 長 平 忠 昭</p>	